

R8交流－6号 令和8年度ふるさと次世代共創支援業務
企画提案に関する質問及び回答

	質 問	回 答
1	提出書類にて本社所在地を管轄する税務署が発行する納税証明書は募集開始日以前のものでよろしいでしょうか。	企画提案募集要領に記載のとおり、募集開始日以降の日付のもの（写し可）を提出願います。
2	仕様書2(3)ア 事前調査について 県として特に把握したい事項や想定する活用場面があれば教えてください。	事前調査は、支援にあたり地域へ適切なサポートや多角的・客観的なアドバイスができるよう、地域の特色や基礎的情報を把握することを目的としています。そのため、仕様書に記載のとおり、地理的要素や歴史的要素、集落人口の推移や産業構造、地域資源等の概要について、満遍なく調査いただくものです。 また、上記目的のとおり、個別の活用場面というよりは支援全体を通して活用することを想定しています。
3	仕様書2(3)カ 取組実施後の振り返りについて 「受注者が考える成果及び課題を定量的かつ定性的に整理・分析」について、具体的なイメージがあれば教えてください。	例えばイベント参加者数や売上等、数値化できるものは数値化し、また、取組が地域や若い世代に与えた変化、影響、今後の課題等について、受注者が考える内容を整理・分析していただくものです。
4	支援対象地域の中心人材について 本業務の推進にあたり、主にやり取りを行う現地の方は、支援対象とする若い世代でしょうか？それとも地域団体・組織等の代表者や区長などの世代になりますでしょうか？	地域の若い世代を中心としてやり取りを行います。
5	「ワクワクする地域づくり」という表現が特徴的だと感じました。この表現に込めた想いを伺わせてください。	高齢化が進んでいる農山漁村地域において、若い世代ならではの視点やスキルを活かした新たな取組に挑戦する機会を創出し、地域一体となって取り組む体制づくりを支援したいという思いから、「ワクワクする地域づくり」と表現しているものです。
6	今回の対象地域の選定理由を伺わせてください。	既に地域づくり等に取り組んでいる若い世代がいる地域で、人材育成や企画といったソフト面での支援を希望する地域を選定したものです。
7	差し支えなければ地域未来交付金の申請の際に定めている目標をご教示いただけないでしょうか。	地域未来交付金の申請内容については公表しておりません。
8	「パートナーシップづくり支援業務」の後継的な事業であると拝見しています。 短期的な評価はもちろん、中長期の継続性の観点も含め、県庁の皆様の中ではどの様に取り組みを振り返ってらっしゃるのでしょうか。	「パートナーシップづくり支援業務」では、対象地域において、地域と多様な外部人材とが協力して行う課題解決に向けた取組を支援したことにより、交流促進に向けた地域住民の意識醸成や、受入体制の基盤形成に繋がりました。中長期的には、持続可能な地域運営に向けて取組を継続するため、受入体制の安定化・強化や、地域内外の参加者の巻き込みに向けた情報発信の継続が課題となっています。